

ビオトープアドバイザー認定研修会受講のすすめ

今、造園業界をはじめ建設業界の仕事量が減少しているという厳しい現状があります。

造園業の主たる事業である、「木や花を植える」「庭をつくる」それらの「メンテをする」という今迄の枠を超えた新分野「生物多様性」が注目され、ビオトープを作り、育て、利用し、学習をする動きが進んでいます。

ビオトープアドバイザーは、ビオトープの理論だけでなく実際にビオトープを作るための企画・設計、実際の施工、それらを利用し、学習するということに力点をおいた資格です。

日本ビオトープ協会がスタートして19年、NPO法人となり9年、ビオトープアドバイザーを認定して10年が経ち、全国でビオトープが広まりつつあります。この機会に是非、受講されることをおすすめします。

NPO法人日本ビオトープ協会
会長 櫻井 淳
総務委員長 梶岡 幹生



総合学習としてのビオトープ授業



協働作業によるビオトープ作り



里山ビオトープ

- 日本ビオトープ協会が行っております『ビオトープ顕彰』にて受賞されたビオトープが毎年新聞等で取り上げられております。各記事は協会WEBページをご覧ください。
- マンションのビオトープ緑化の1枚のパンフレットを添付します。(裏面)

暮らしの中へビオトープ

ビオトープマンション



小川のせせらぎや、木の葉の擦れる音、四季折々花が咲く里山林、里山のお花畑、住む人の笑顔あふれる空間を提供します。

癒しの空間のあるところで暮らし、“心”と“体”の健康あふれる生活を楽しみましょう。

ビオトープとは

ドイツ語で「ビオ」=生き物、「トープ」=場所から構成された言葉つまり「ビオトープ」とは、昔からその場所にいる生き物が生きていくことができる場所。

何故、ビオトープづくりか？

季節感あふれ、たくさんの生き物や不思議との出会いのある環境のなかで生活することが、人間の原点(ふるさと)です。

人間性の回復の場づくりとして、「ビオトープづくり」が役立つと考えられます。また、住む人のゆとりと豊かさを実現する環境をつくるのが大切です。

里山は緑と自然に包まれ、心が和む暮らしができます



小鳥がさえずり



日本スミレ



ヤマアジサイ



ミソハギ



フクジュソウ

メダカが泳ぎ



トンボが飛び



サクラ



ホタルブクロ



キンモクセイ



ヤブツバキ

チョウが舞い

